



# 三原市本郷人権文化センターだより

発行／三原市人権推進課  
編集／三原市本郷人権文化センター  
所在地／三原市本郷北3丁目16番10号  
電話／0848-86-3333  
FAX／0848-86-3407

ふれあい交流事業実行委員会主催

## 第47回 合同慰霊祭・盆踊り大会をおこないます

【とき】8月5日(土) 18:30～ 【ところ】本郷人権文化センター

《催しスケジュール》



- 18:30～18:50 合同慰霊祭（2階：大会議室）
- 18:50～ バザー（券販売は、会長あいさつ後）無くなり次第終了します  
焼そば・フランクフルト・おでん・手羽先・イカ焼き・かき氷・飲み物
- 19:15～20:00 盆踊り
- 20:00～20:15 こどもジャンケン大会
- 20:15～21:00 カラオケ大会（当日受付：15組）
- 21:00～ うちわ抽選会



- ※ うちわ(抽選券つき200本)の配布は18:10から行います。
- ※ バザー開始まで、小学生以下の子どもさんは、わなげゲームがあります



「ふれあい交流事業実行委員会」とは・・・

人と人の温かいふれあいの中で、一人ひとりを大切にすると人権意識を定着させることを目指し、地域の交流事業を行い、明るい地域作りのため、本郷人権文化センター近隣の5町内会、関係機関等により構成されています。

## 平和ポスター展(巡回展示)をおこないます【入場無料】



展示テーマ【広島復興の歩み】

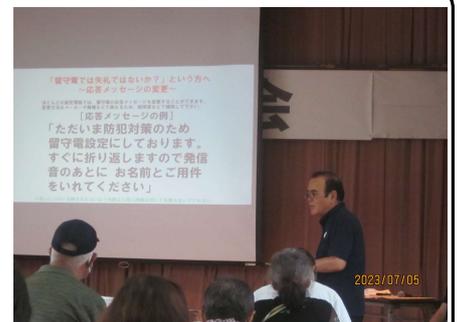
とき	ところ
8月1日(火)～8月10日(木) 9:00～22:00	イオン三原店 1階中央エスカレーター前
8月18日(金)～8月24日(木) 8:30～17:15 ※土日・祝日除く	久井保健福祉センター ロビー
8月28日(月)～9月4日(月) 8:30～17:15 ※土日・祝日除く	大和支所 ロビー

★ 問い合わせ先 三原市人権推進課 電話 0848-67-6044

## 人権講演会を開催しました

7月5日(水)、三原市消費生活センター消費生活専門相談員の幸山常男さんをお迎えし、「うまい話にご用心！」と題して、実際に三原市内で起きた、ギフトカード詐欺被害など、身近にあった事例を用いながら、お話いただきました。自分は騙されないと安心している人ほど、騙されやすいこと、固定電話は常に留守番電話に設定したり、ナンバーディスプレイやナンバーリクエスト機能を使って知らない電話番号には出ないようにすることなど、とても参考になりました。

(主催：本郷しろやま女性クラブ)

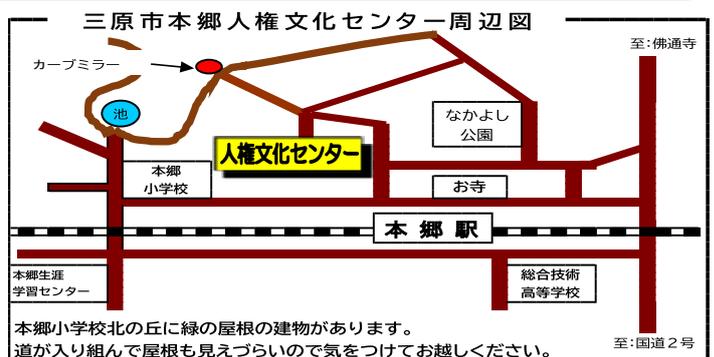


## 人権相談

人権侵害や差別などでお悩みの方は、人権相談員にご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。気軽に相談してください。



- とき 土・日・祝日は除く 10時～16時
- ところ 三原市本郷人権文化センター
- 電話 0848-86-3333



# 人権のひろば



## 学ぼう！SDGs (持続可能な開発目標) (12)

SDGsは、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標として、2030年度を達成年限とし、17のゴール(目標)で構成されています。“人権のひろば”では、人権に関する目標を紹介していきます。

11 住み続けられるまちづくりを



### 【目標 11. 住み続けられるまちづくりを】

住み続けられるまちづくりとは、誰もが安全で快適に暮らし続けられるよう気候変動や社会課題に適応したレジリエント(強靱)な都市を実現するという目標です。レジリエントとは、災害などの衝撃を吸収し、元の状態に回復できる力をいいます。

#### 「目標 11 が設定される背景」

日本も含め、世界的に都市部の人口が増加しています。現在、人口の半数が都市部に集中しており、2030年には約6割、2050年には約7割にまで増えると予測されています。これだけ大勢の人々が暮らすことになれば、住宅不足や、交通渋滞による大気汚染、ごみ処理などの課題がより深刻化し、根本的な解決策が必要になります。さらに今後は気候変動による気温上昇や大雨洪水の発生などの災害が過酷化していくと見込まれ、多くの人口を抱える都市部は、災害時に多くの犠牲者を出すことが懸念されています。近い将来に起こりうる危機に適応し、乗り越えていけるレジリエントなまちをつくるのが緊急の課題なのです。

#### 「日本の取り組み事例」

徳島県の山間地にある人口1500人のまち上勝町は、2003年に自治体として日本で初めての「ゼロ・ウェイスト宣言」を行い、ごみを出さないためのまちづくりを行ってきました。具体的には、各家庭へのごみ収集は行わずに、生ごみは各家庭でコンポストを使って堆肥化し、それ以外は住民がごみステーションに持ち寄り、45種類以上の資源に分別するというシステムです。現在リサイクル率は80%を上回っています。またごみステーションには、中古品のお店などが隣接され、訪問者でもゼロ・ウェイストの概念を体験できます。(SDGsACTION より)

## ★きょうは何の日？ 8月 人権カレンダー



8月9日は「世界の先住民の国際デー」(国際連合広報センター記事より)

先住民の権利の保護と推進を目的として、1982(昭和57)年8月9日に国際連合の補助機関である先住民民族作業部会が初めて開催されました。世界のおよそ90カ国に3億7000万人以上の先住民が住んでいますが、その多くの方が読み書きができず、極貧の生活を強いられています。また、戦争や環境災害のために避難を余儀なくされ、先祖の土地から追い出され、また必要な資源を奪われています。これからも先住民の権利が尊重されるよう諸施策を進めていく必要があります。